

令和7年度（2025年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	国語	科目	論理国語	学年	第2学年	類型	Ⅱ型
単位数	2単位	教科書	新編論理国語（大修館書店）				
補助教材	常用漢字ダブルクリア 五訂版（尚文出版） カラー版新国語便覧（第一学習社）						

学習目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
------	---

学期	月	単元（学習項目）	学習内容・単元の目標	定期考査	
1学期	4月	対話とは何か	表現の特徴に注意して筆者の考えを読み取り、ことばで伝えることの大切さについて考える。	中間考査 期末考査	
	5月	ふしぎということ	文章の構成や内容を的確に捉えながら、人間理解のために重要な役割を果たす科学や神話について思考を展開する。		
	6月	学ぶことと人間の知恵	人間と知性を巡る評論を読み、自分の考えを深める。学者による科学的知見に基づいて書かれた文章を読み、文章を論理的に読む力を養う。		
	7月	ラップトップ抱えた「石器人」	科学技術が進展を続ける現代社会において、人間はどうあるべきかを考える。		
2学期	8月	思考の肺活量	提示された問題を的確に把握し筆者の思考とその方法を理解することで思考力を養う。答えのない問題に取り組む大切さを理解する。	中間考査 期末考査	
	9月		安心について		安心というキーワードについて考察することで、さまざまな国の文化、私たちの生き方などについて考える。
	10月	弱肉強食は自然の摂理か	学問的な見地から新たなものの見方を広げる。一般的に常識と呼ばれるものも視点を変えることで一面的なものであることを理解する。		
	11月		複数の「わたし」		自己同一性という言葉に象徴される近代の個人主義的な人間観に対して、私の中にも複数の人間関係に根ざした私がいることを理解する。
	12月				
3学期	1月	はじめに「言葉」がある 楽に働くこと、楽しく働くこと	さまざまな働く人の観点から書かれた文章を読んで、働くことについて考える。歴史を通して洗練された言葉には日本人が育んだ視点があり美の世界でもヒントとなることを理解する。	学年末考査	
	2月		実社会で働くうえで、読書が大切であることに気づき、つらい労働の価値を見いだし生きる力を与えてくれるものであることを理解する。		
	3月				

学習の方法	事前学習では、言葉の意味を調べたり辞書を活用して語彙を増やしましょう。普段から新聞やニュースに触れたり読書をするなどして、文章を読む習慣や意見をしっかりと書く習慣を身につけましょう。
-------	---

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行う。 平常点は、提出物（課題、ノート、学習プリント等）・小テスト・授業に取り組む姿勢を考慮して評価する。		